

# 家庭科の基本方針

## 1 家庭科で目指す子ども

日常生活に関する基礎的な知識・技能を科学的な根拠をもって理解し、よりよい生活を営むために活用する子ども

家庭科では、「生涯にわたってよりよく生きるために家庭生活を支える資質や能力を育てる」ことが求められている。そのためには、子どもの家庭生活への関心を高めるとともに、子どもが知識・技能を実生活で活用できるようしなければならない。よって教師は、基礎的な知識・技能を科学的な根拠をもって理解させ、問題解決的な学習を一層充実させなければならない。

子どもの「家庭生活を支える資質や能力」を育てるには、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能を科学的な根拠をもって理解させることが大切である。例えば、ゆで卵を考えてみる。時間をかければ卵は、ゆでられ食べることができる状態にはなる。しかし、ゆでる時間によって卵の固まり具合が異なることを理解していれば、子どもは、自分や家族の好みに合わせた固さのゆで卵をつくることができる。また、様々な料理でゆで卵を使うときにも、どの固さがいいのか自分で考え調理することができるようになる。このように科学的根拠に基づいた理解は、再現性が高く、家庭生活に活用できる知識・技能として身に付くのである。

また、子どもの「家庭生活を支える資質や能力」を育てるには、生活の問題点を見だし、解決の見通しと解決策をもって生活をよりよくしようとする子どもを育てることが大切である。そのために、前述で示したとおり問題解決的な学

習を充実させなければならない。問題解決の学習過程において、家庭科の見方・考え方を働かせることで、問題点を明確にし、解決策を見いだす必然性をもたせる。そのために、家庭科で働かせたい見方・考え方との関連を図った他教科等との学習内容の関係付けが必要になってくる。他教科の学びが、自分や家族の生活と関係していることを理解することで、家庭科の学習がより深い学びになるのである。

## 2 豊かに考える子どもを育む授業づくり ○ 第5学年：B 日常の食事と調理の基礎

生活事象の問題点に気づき、話し合いを通して、問題の解決策を見いだす子ども

私の目指す子どもの姿において生活事象とは、これからの自分や家族の「食」生活に関することを意味する。

子どもが、「食」生活の視点で問題点をとらえ、調理について考えることができるようにする。そのために、他教科等の学習内容と関連を図って題材を構成する。まず、1回目の実習で、基本的な調理方法を身に付けさせておく。1回目の題材から、他教科等の学習に関連した問題点に気付かせ、解決策の話し合いをさせる。話し合いで見いだした解決策を実行するために2回目の実習を行う。問題を解決できたと自覚した子どもは、実生活において活用しようと意欲を高めていく。そして、「食」生活の問題点において着目しながら、日常の食事を調理をした子どもは、これからの「食」生活をよくしようと工夫することができるようになるのである。

### 3 家庭科で育成する資質・能力

|               | A 家庭生活と家族  | B 日常の食事と調理の基礎   | C 快適な衣服と住まい  | D 身近な消費生活と環境                                   |
|---------------|--|---|--|--|
| ① 知識・技能       | ○仕事や生活時間、家族などのかかわり方に関する知識・理解   | ○食材の栄養素と健康に関する知識<br>○調理に関する知識・技能<br>○調理器具や食器等の安全な取り扱い方に関する知識・技能 | ○裁縫に関する知識・技能<br>○衣服の働きと手入れの仕方に関する知識・技能<br>○快適な住まいの条件に関する知識 | ○商品とそれらを購入することに関する知識<br>○環境に配慮した生活の仕方に関する知識・技能 |
| ② 思考力・判断力・表現力 | ○日常生活の中から問題点に気づき、課題を設定し、課題を解決する力<br>○生活の問題点について自分の経験や既習と関連付けて、解決方法を構想する力<br>○他者の考えを聞いたり、自分の考えを分かりやすく伝えたりして計画・実習等について評価・改善する力 |   |  |  |
| ③ 態度          | ○家族の一員として、生活をよりよくしようとする実践的な態度<br>○家庭生活を大切にできる態度<br>○家族や地域の人々とかかわり、協力しようとする態度<br>○生活を楽しまうとする態度<br>○日本の生活文化を大切にしようとする態度        |   |  |  |

### 4 家庭科の学習で働かせる見方・考え方

|        | A 家庭生活と家族                                | B 日常の食事と調理の基礎                         | C 快適な衣服と住まい                               | D 身近な消費生活と環境                                 |
|--------|--|---------------------------------------|---|--|
| 見方・考え方 | ○家庭生活を家族との協力・協働の視点でとらえ、よりよい生活を営むために考えること | ○食事に関して健康・安全の視点でとらえ、よりよい生活を営むために考えること | ○衣類や住まいに関して快適・安全の視点でとらえ、よりよい生活を営むために考えること | ○消費生活と環境に関して持続可能な社会の視点でとらえ、よりよい生活を営むために考えること |